

領域9 インフォーマルミーティング議事録

2010年9月24日 17:00～18:00

於 大阪府立大学 (WG会場)

参加人数：約40人

1. 報告事項

- 1.1 今大会のプログラム編成
- 1.2 2011年第66回年次大会(2011年3月25日～28日)までのスケジュール
- 1.3 領域代表・領域副代表 交代 (2010/10～2011/9)

上記の内容に関して当日の資料に基づいて報告がなされた。

2. 協議事項

- 2.1 次々期領域運営委員の推薦・承認

結晶成長分科

木村 勇氣 氏 (東北大)

表面・界面分科

金 有洙 氏 (理化学研究所)

中村 恒夫 氏 (産総研)

上記3名が推薦され、承認された。

- 2.2 2011年年次大会におけるシンポジウム・招待講演

シンポジウム

1件のシンポジウムが提案され承認された。

「光と走査プローブ顕微鏡の融合によるナノサイエンス

Nano Science by the fusion of light and scanning probe microscopy」

提案者：小森文夫 氏 (東大物性研)

8件の講演が企画され、それぞれに関して説明がなされた。本シンポジウムには海外からの講演者が含まれるため、講演は英語で行なわれるのかどうか質問されたが、より多くの方に参加していただきたいとの意図により、特に制限は設けないとことが確認された。ただ、講演に使用されるスライドは英語で作成、との事で合意。

招待講演

1 件の招待講演が提案され承認された。

講演者：木村 昭夫 氏（広島大院理）

講演のテーマ「ビスマス系トポロジカル絶縁体の物理」

（正式な講演タイトルは後日）

提案者：坂本 一之 氏（千葉大院融合）

2.3 キーワード・合同セッション

新トピックスとして「トポロジカル表面」の追加が提案され承認された。一方、前回大会から発表件数の少ない「表面局所光学現象」は削除の方向で検討する→次の年次大会に関するキーワード変更は申請期日を過ぎていたものの、まだ修正可能であったため以下のように修正を依頼（江口豊明氏）。

- ・第一キーワードの新トピックスに(75)トポロジカル表面 を追加

- ・上記項目の追加に伴いキーワード選定に関する説明文を変更

（現）第一キーワードで(71~73)新トピックスを選定する場合は、(71)~(73)のうちから一つを選択し記入。

（改）第一キーワードで(71~75)新トピックスを選定する場合は、(71)~(75)のうちから一つを選択し記入。

3. その他

3.1 科学研究費補助金における「系・分野・分科・細目表」に関する見直しについて、物理学会から提示された 5 項目に関して小森文夫先生よりアナウンスがあった。特に変更が必要な内容は提起されなかった。

3.2 ワークショップが 4 件、松井文彦氏よりアナウンスがあった。（#1: WorkShop Atomic resolution holography, #2: 関西薄膜表面セミナー、#3: 放射光表面科学部会顕微ナノ材料科学研究会合同シンポジウム、#4: 表面・界面シンポジウム）